

ま え が き

ここに、令和元年版「統計東久留米」を刊行いたします。

この統計書は、東久留米市の人口、産業・経済、教育・文化、厚生・市民等の各分野にわたる基本的な統計資料をできる限り総合的に集録し、市の現況の推移を表したものです。

さて、この統計書にも前回の結果を掲載しておりますが、今年は我が国最大の統計調査である国勢調査が実施される年です。国勢調査は大正9年（1920年）に第1回調査が実施されてから100年の節目を迎えることとなりました。第1回調査が実施された時の総理大臣は「平民宰相」と言われた原敬ですが、原が明治18年に書記官としてパリ公使館に赴任した際、フランスの国勢調査を目の当たりにし、国勢調査が近代国家の運営に必要不可欠という経験をしたことが実施のきっかけでもあったようです。テレビもラジオもネットもない当時、国民に浸透させるために標語や唱歌、川柳、都々逸、替え歌まで作られました。こうした国を挙げての大きな盛り上がりの中、第1回調査は無事終了し今日まで100年続いています。

もし国勢調査がなければ市町村に配分される地方交付税の算定や、少子高齢化対策、防災・災害対策など国や自治体が行う施策に支障をきたすことは明らかです。市も今年の国勢調査に向けて市民の皆様や関係者の方々のご理解、ご協力をいただきながら、着実に準備を進めてまいります。

おわりに、「統計東久留米」の編集にあたりましては、内容の整備・改善に努めましたが、今後とも各方面からのご指導、ご助言を得まして一層の充実を図りたいと考えております。本書の刊行にあたり、貴重な資料の提供や格別のご協力をいただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。

令和2年3月

東久留米市長 並木克巳

凡 例

- 1 この統計書は、各官公庁及び民間団体から提供された資料、既に公表されている各種統計報告並びに庁内各課から収集した資料を集録しました。なお、国勢調査をはじめ、各種統計調査の結果については確定値が出た後、順次掲載します。
- 2 この統計書は、必要に応じて最近3ヶ年(年度)～10ヶ年(年度)程度の数値を掲げることで、経年による変化及び比較対照が容易になるよう編集しました。
- 3 表中「年次・〇〇年」とあるのは暦年(1月1日から12月31日まで)を示し、「〇〇年度」とあるのは会計年度(4月1日から翌年3月31日まで)を示します。また、「〇月〇日」とあるのはその期日を示します。
- 4 単位未満の数値は、原則として四捨五入したため、総計と内訳の合計が一致しない場合があります。
- 5 この統計書に集録した数字で、既に公刊された数値と相違するものは、本書編さんの際に訂正を加えたものです。
- 6 統計表中の符号、用語は次のとおりです。

「－」 皆無又は該当数値のないもの	「…」 不詳又は資料のないもの
「x」 該当数値の公表を差し控えたもの	「0」 単位未満の数値
「△」 減少又は負数	
「皆増」 前年度の数値がなく全額増加したもの	
「皆減」 当年度の数値がなく全額減少したもの	
- 7 東久留米市の面積は、国土交通省国土地理院公表の「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」(令和元年10月1日時点)に基づきます。
- 8 この統計書に集録した資料についての照会は、各表に付してある資料作成機関又は総務部情報管理課統計調査係にお願いいたします。なお、内容につきましては東久留米市ホームページ「まちのデータ」にも掲載しております。

URL <http://www.city.higashikurume.lg.jp/shisei/profile/machi/>